

W!F
Vol. 22
農業の夢追人
Wonder Field

北海道版



Wonder Field vol.22 (北海道版) 平成24年4月発行/編集・発行 ヤンマー農機販売株式会社「Wonder Field」編集部 〒530-8321 大阪府大阪市北区鶴野町1-9 梅田グリーンプラザ

YANMAR

■創業100周年 ヤンマールの歩み

特集 日本農業
6次産業化の時代へ

先進農業事情

先進技術導入で日本を代表するギガファームへ!
北海道野付郡 中山貞幸さん

低農業と高収益性で個人経営規模トップクラス!
青森県青森市 大柳壽憲さん

安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON
ヤンマーは、FOOD ACTION NIPPONの推進パートナーです。

Wonder Field 不思議・驚き・好奇心。大地に夢を求め、農業に人生を託し、プロフェッショナルをめざす夢追人。そんな人々を応援する情報誌です。

ヤンマー創業100周年 社長メッセージ



ヤンマー株式会社
代表取締役社長

山岡健人

2012年3月、当社は創業100周年を迎えることができました。この記念すべき年を迎えるにあたり、私がヤンマーグループを代表しご挨拶させていただくことをたいへん名誉に感じております。

当社グループは、産業用小形ディーゼルエンジン事業を柱に、農業、漁業をはじめとする多様な産業分野へ商品やサービスを提供してまいりました。その多くはライフサイクルの長い製品群であり、お客様に長くご愛用いただき愛されてまいりました。当社が無事100周年を迎えられたことは、ひとえにお客様の末永いご愛顧のおかげと心から感謝申し上げます。

当社の発展は、農業漁業に従事する人々の厳しい労働を軽減したいと、創業者山岡孫吉が開発した小形ディーゼルエンジンに始まります。孫吉は、農業用作業機に、燃料効率の高い小形単気筒ディーゼルエンジンを搭載し、農業の機械化を推進。耐久性に優れたこのエンジンは漁船用エンジンとしても受け入れられました。その後、建設機械や発電機へ、戦後には船用大形ディーゼルエンジンへ事業領域を拡大しました。さらに、エネルギー効率を向上させることは労働の軽減をもたらし、人々により豊かな生活や余暇をもたらしてきました。このような時代の変化の中で、ヤンマーも住生活分野やレジャーボート分野へ事業を拡大してきたのです。

一方、100年前の社会が直面していた課題と、これからの100年に世界が直面する課題は異なります。世界は今後、人口爆発による食料不足、気候変動、エネルギー問題など困難な課題に直面します。そういった中で、持続可能な社会を実現するため、当社グループが今後どの領域でどのように貢献したいかという思いを明

示した新しいミッションステートメントを掲げました。

一滴の燃料を効率良く動力に変換し、その動力を生かして厳しい労働の軽減に役立て人々の生活を向上させたい…創業者が掲げた基本理念「燃料報国」は、今後も基本姿勢として変わることはありません。新ミッションステートメントのもと、当社グループは、これ迄の100年に培った技術を生かして、食料生産とエネルギー変換という人の生命の根源に関わる事業領域で、ソリューションの提供に挑戦してまいります。

まず食料生産の分野ですが、日本においては農業の大規模化や就農者確保に対応した支援が求められています。またアジアにおいては消費地と生産地を結ぶ食料流通支援など、多くの課題に直面しています。

それらに対する当社ソリューションの一例を挙げると、ヤンマーアグリイノベーション株式会社直営のモデル農場では、農業への参入を希望する企業の人材を受け入れ、農業研修を実施。農産物の生産から販売まで農業ビジネスの流れを体験しながら、次世代の農業リーダーが育っています。このように持続可能な農業経営やより低コストで効率的な食料生産、食の付加価値づくりなど様々な解決策を、世界中で提供できると確信しています。

エネルギー変換の分野では、来るべき100年も、地球環境への負荷を最小限に抑えながら、エネルギー効率の最も高いエンジンを作るのは私たちが強い決意は変わりません。燃料効率の絶えざる向上をめざすエンジン開発のリーダーとして、今後もたゆまぬ研究開発に邁進します。

さらに世界のエネルギー供給が大きな転換期を迎えた今日、非常用発電、コージェネレーションなど当社が手がけてきた技術に、グリーンエネルギーをはじめとするエネルギー変換技術を組み合わせ、環境負荷の小さい最適効率のエネルギーシステムを構築する。そして未来の子供たちが安心して暮らせる豊かな地球環境づくりに貢献することが、私たちに課せられた社会的使命と認識しています。

次の100年もお客様から愛される企業グループであるために、当社グループは一丸となって、お客様の課題解決に取り組んでまいります。末永いご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ミッション ステートメント

わたしたちは
自然と共生し

いのち
生命の根幹を担う

食料生産とエネルギー変換の分野で

お客様の課題を解決し

未来につながる社会と

より豊かな暮らしを実現します。

Contents

ヤンマー創業100周年 社長メッセージ	1
ヤンマー 100年の歩み —日本農業に寄り添い歩んだ道—	2
特集—日本農業6次産業化の時代へ—	4
6次産業化の先達たち その技・発想・情熱に学ぼう	6
風景、作物、料理、動物たち すべてが繋がって、6次産業化です	8
農政TOPICS 我が国の食と農林漁業の再生のための 基本方針・行動計画	10
YANMAR NEWS 水田裏作・転作畑の野菜づくりに最適 湿害防止と省力化が実証試験で明らかに。 ヤンマー二軸整形ロータリ(表層細土整形ロータリ)	12
先進農業事情 ●先進技術導入で日本を代表するギガファームへ! 北海道野付郡 中山貞幸さん	14
●低農業と高収益性で個人経営規模トップクラス! 青森県青森市 大柳壽憲さん	16
新商品紹介 全自動野菜移植機 PF1 乗用全自動野菜移植機 PF2R たまねぎ収穫機 HT20A 歩行型たまねぎピッカー HP90T 人参収穫機 HN100.F	18
安全・安心作業のための点検・診断講座 田植機編	20
旬の農業書ご紹介	22
Homemade Cooking 米粉ミックス粉のフルーツロール	23
ヤンマー学生懸賞論文・作文入賞者発表	24
わが家のステキな女性へ! Wonderful Women	25

■ ヤンマーのあゆみ

明治45年 1912 山岡発動機工作所として創業
 ガス発動機と吸入式ガソリンエンジンを販売
 大正10年 1921 商標を「ヤンマー」とする
 横形石油発動機完成
 大正14年 1925 漁船用
 石油発動機発売
 昭和8年 1933 世界初の小形横形
 水冷ディーゼルエンジンH形(5~6馬力)完成
 昭和11年 1936 山岡内燃機株式会社を設立
 昭和12年 1937 「燃料報国」を
 モットーとして掲げる
 昭和24年 1949 農村振興のため永原農村精密工場を設置し、
 小形ディーゼルエンジン用燃料噴射ポンプ部品を
 製造開始。その後、農村工場は石道・大森・音浦にも設置
 昭和27年 1952 社名を「ヤマディーゼル株式会社」に改称
 世界最小の横形ディーゼルエンジンK1形
 (15~2馬力)完成
 昭和30年 1955 社長山岡孫吉が
 ドイツ発明協会から
 ディーゼル金賞牌を
 授与される
 昭和34年 1959 テレビで「ヤン坊マ坊天気予報」の
 提供開始
 世界初の小型空冷ディーゼルエンジン
 A2形(2馬力)A3形(3馬力)発売
 昭和41年 1966 小型建設機械第一号ハンドローザーHD5形発売
 昭和43年 1968 品質管理による業績向上を認められ、
 ディーゼルエンジン業界で初のデミング賞実務賞を受賞
 昭和46年 1971 小型建設機械「ミシヨヘルBYB600」発売
 レンジャー「ハンター」を発売しレジャーボート市場へ進出
 昭和58年 1983 世界最小の空冷ディーゼルエンジン
 L形開発
 昭和59年 1984 南極昭和基地で
 ヤンマー
 コージェネレーション
 システム運転開始
 昭和62年 1987 ガソリン・ポンプ・エアポンクを
 発売し空調事業に参入
 昭和63年 1988 栽培漁業の研究開発拠点
 ヤンマーリニアーム設立
 平成4年 1992 ディーゼルエンジン生産累計1000万台達成
 平成5年 1993 ヤンマーサッカークラブを母体とする大阪サッカークラブを
 共同設立しセレッソ大阪としてJFLに参戦
 平成6年 1994 超小旋回ミニシヨヘルVシリーズ発売
 平成7年 1995 滋賀県びわ湖に
 最新設備のエンジン工場
 びわ湖工場竣工
 平成14年 2002 創業90周年を迎え
 社名をヤンマー株式会社に変更
 平成16年 2004 世界最高の発電効率を発揮する
 マインローコージェネレーション発売
 平成19年 2007 ディーゼルエンジン実用化
 最小モデルH形が
 機械遺産に認定
 平成24年 2012 ヤンマー創業100周年

■ ヤンマー農業分野のあゆみ

大正10年 1921 農村に石油発動機普及のため
 動力粉すり機(日本初)・
 揚水用パーチカルポンプ発売
 昭和12年 1937 陸王号耕うん機、
 岡田式トラクタを発売
 昭和30~35年 1955~1960 ヤンマー農用ディーゼルエンジン
 年間販売台数、
 5万台から10万台に倍増
 昭和36年 1961 ヤンマー農機株式会社設立
 エンジン専業メーカーから
 総合農機メーカーへ事業拡大
 ライスセンターの本格的販売開始
 昭和39年 1964 昭和41年 1966 ディーゼル耕うん機
 YCSシリーズ発売
 昭和46年 1971 カントリーエレベータの本格的販売開始
 昭和47年 1972 世界最大の農業トラクタメーカー
 米国ディア社とジョイント
 トラクタ輸入販売契約締結
 昭和48年 1973 トラクタ「コンバイン」
 年間販売台数1万台突破
 昭和61年 1986 ヤンマーコバイン生産累計
 22万台突破
 平成2年 1990 第二回ヤンマー学生懸賞論文募集
 平成3年 1991 石川島芝浦機械株式会社と業務提携締結
 平成4年 1992 野菜機械化ナラ
 システム本格開発着手
 平成8年 1996 産業用無人リコバイン
 事業の拡大を目的に
 ヤンマーサービス株式会社設立
 平成10年 1998 中国で洋馬農機(中国)有限公司設立
 平成16年 2004 タイでヤンマー農機タイランド設立
 平成17年 2005 韓国でヤンマー農機韓国設立
 平成21年 2009 ヤンマー農機株式会社と合併
 ヤンマー株式会社と合併
 平成22年 2010 ヤンマーグリーンベーション株式会社を
 設立し農業ビジネスに参入
 YH300
 ACP-1



トラクタ

昭和38年 1963 ヤンマー初の
 トラクタY形
 (12・13・14馬力)発売
 昭和49年 1974 業界初、
 ベルギヤ式
 4輪駆動
 トラクタ誕生
 昭和51年 1976 世界初小型トラクタに
 ノークラッチ
 パワースhift機構採用
 昭和60年 1985 業界初、トラクタで
 グッドデザイン賞受賞
 昭和61年 1986 業界初、作業機の着脱が
 容易なクイックヒッチ採用
 平成元年 1989 業界初、電子制御
 エンジン搭載
 平成7年 1995 業界初、省エネ、
 省時間を実現した
 高速耕うんトラクタ
 エコトラシリーズ発売
 丸ハンドル
 フルクローラ
 トラクタ発売
 平成18年 2006 国産初、電子制御
 無段変速HMT
 搭載
 平成21年 2009 世界初、高効率
 無段変速HMTエンジン搭載
 平成23年 2011 ヤンマー初の
 ハイフクローラ
 トラクタ発売
 EG105
 EG782
 US46R
 F535
 F80D
 YM2210
 YM1500D
 YM12A

100th ANNIVERSARY

日本農業に寄り添い

道

HISTORY OF YANMAR

田植機

昭和42年 1967 動力田植機
 時代の幕開け
 昭和43年 1968 紐苗式の歩行型田植機発売
 昭和47年 1972 苗マツト式
 田植機発売
 昭和52年 1977 胴体屈折機構を
 備えた前植式
 兼用型田植機発売
 昭和57年 1982 現在主流の
 後植式
 兼用田植機発売
 昭和63年 1988 ロータリ式植付け部
 を新規採用
 平成2年 1990 小規模・
 兼業農家向け
 小型・軽量
 田植機発売
 平成8年 1996 高い伝達効率と
 取扱い性向上を
 両立させた
 CVT変速採用
 平成14年 2002 新世代エンジン
 無段変速HMT採用
 平成23年 2011 業界最速の
 植付け速度
 1.85m/sを実現
 RG6
 GP6
 Pe-4
 YPR5000
 YP6000
 YP2
 Y30P
 FP2

コンバイン

昭和44年 1969 ヤンマー初の
 コンバイン
 (歩行型)誕生
 昭和47年 1972 コンバイン専用
 脱穀部を搭載した
 兼用型2条刈り
 コンバイン発売
 昭和50年 1975 業界初、コンバインに
 ノークラッチパワースhift機構採用
 昭和60年 1985 フラックスを再処理
 してロスを低減する
 直交処理胴搭載
 昭和61年 1986 稲・麦・大豆・ソバ等
 多品種を収穫できる
 汎用型低コスト
 コンバイン発売
 平成元年 1989 ヤンマー初
 5条・6条刈り大型コンバイン
 CA-MAXシリーズ発売
 平成3年 1991 アタッチメントの
 組替えて多品種の
 作物を収穫できる
 大豆用コンバイン発売
 平成6年 1994 生研機構の緊プロ初号機
 CA1200発売
 平成8年 1996 丸ハンドルFDS
 フルタイムドライブシステムを
 採用した5条、
 6条刈り
 コンバイン発売
 平成23年 2011 大型プロ
 農家向け
 6条・7条刈りコンバイン発売
 AG7114
 GC80
 CS21
 CA600
 CA21
 TC750
 TC500

1×2×3 6次化

流れは変わるか？ 日本農業 6次産業化の 時代へ

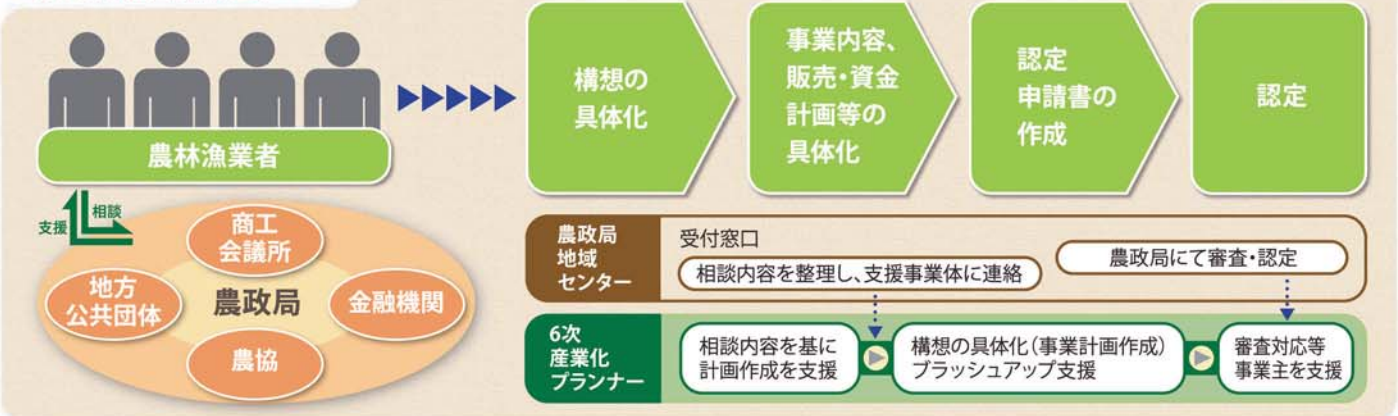
平成23年3月、「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」、通称「6次産業化法」が施行されました。6次産業化とは、農林水産業者が生産から食品加工・製造、販売、情報サービスや観光事業にまで進出し、所得・雇用の拡大と地域産業としての存在意義を高めていく取り組み。弱体化しつつある日本の第一次産業の底上げと地域活性化など、多様かつ複合的な目標に向けての国家戦略の一つであり、志を持つ農家には様々な支援制度も整えられています。法施行に伴いスタートしたこれらの支援制度とともに、6次産業化の成功例なども紹介。時代に生き残る農業の方向性を、具体的なカタチで探ってみました。

「6次産業化」 チャレンジの領域は広い

インターネットによる生産者と消費者の直販ルート作りや、収穫した野菜や果物を使った野菜ジュースやジャムの加工販売など、収益性を高めるために農家が他業種へ進出していく例は少なくありません。国は6次産業化法により、こういった動きに対して本格的なテコ入れを開始しました。農林水産省による6次産業化の考え方を現したのが下の図です。作り手発想では、つい農産物に目が向き、加工や販売売場だけにとらわれがちですが、「6次産業」とは「1次産業」と「2次」「3次産業」の領域をすべて掛けあわせる（1×2×3＝6）のことを意味しており、理想とするのは生産、加工、販売、そして流通やサービスなどが融合した産業の新しい形。その中には観光事業や情報、エネルギー事業まで幅広い領域が含まれます。

どで構成されており、後者は既に6次産業化に取り組んでいる先達です。
6次産業化プランナーは都道府県の「6次産業化サポートセンター」※1で紹介してもらえますし、ボランティア・プランナーは農水省ホームページ※2にリストが掲載されています。このように専門家による個々の案件への支援対応が、今回の政策の大きな特長です。
② 認定後の資金面中心のサポート
6次産業化法の認定を受けると、主に次のようなメリットがあります。
◆ 農業改良資金として無利子融資を特別適用で活用。（特別適用では償還期間と据置期間が2年延長可能）
◆ 短期運転資金（新スーパース資金）の貸付け。
◆ 新商品の開発や販路開拓の取り組みに対して費用の2/3を補助。
◆ 農業法人等が新しく加工や販売に取り組む際の施設整備に対する補助。
◆ 6次産業化に向けての交流会や研修会の開催に対する補助。
（注）融資や補助の決定には別途審査があります。

■事業計画の認定フロー



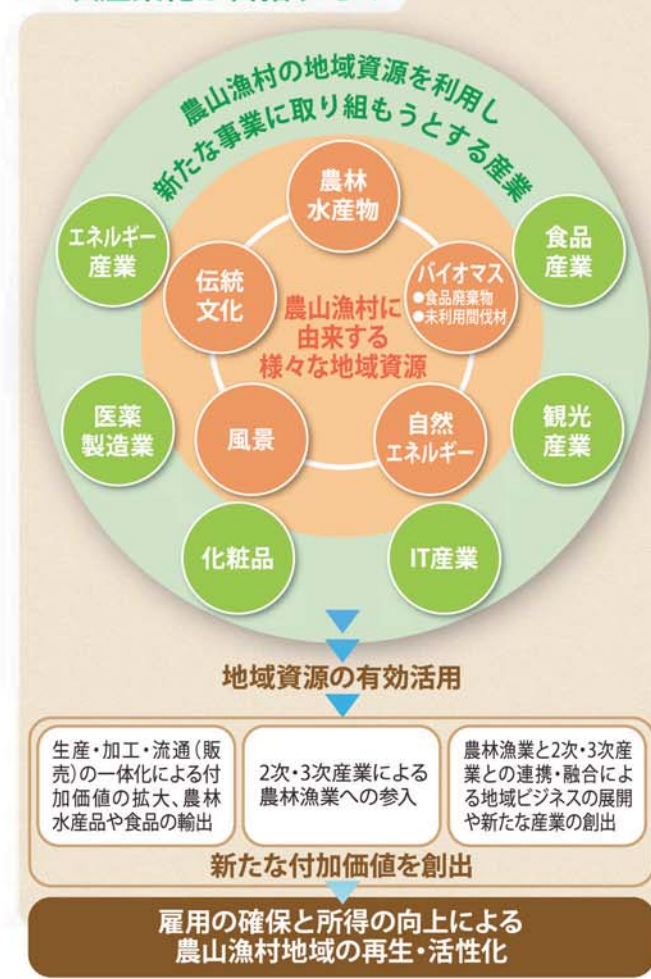
再生可能エネルギーなどに 大きな関わり

たとえば、その地域独特の自然環境や文化も6次産業化の素材。都会に住む人に畑仕事を体験させる観光ツアーや、農園や牧場のレストラン経営も6次産業化といえます。また、組合や集落単位でおこなう村おこしなども展開によっては6次産業化となります。さらに、バイオマス（動物や植物を使った再生可能な有機資源）や、農地の自然資源である引用水や太陽光などを使った再生可能エネルギーの活用なども6次産業化の領域に入ります。これらは、時代が省資源や低炭素社会へ向かう中で、伸びしろの大きい分野といえます。

国の支援制度を チェックしよう

今回の法施行に伴う一連の動きによって、6次産業化を志す農家や農業法人は、様々なサポートを受けることができるようになりました。
① 事業の計画段階でのサポート
資金面などの支援を受けるには、事業計画書を提出し、国の認定を受ける必要があります。計画書の提出先は各地域の農政局担当窓口です。（P7参照）
農政局窓口では、地域の公共団体や商工会、JAなどと連携して事業計画の相談に対応してくれます。また、国では各地域で6次産業化を推進する人材として「6次産業化プランナー」とボランティア・プランナーを選定し、サポート活動を実施。前者は経営コンサルタントや、加工・流通業者な

■6次産業化が目指すもの



6次産業化
こんな場合はこんな支援が受けられます。

農作物の加工や販売に新たに組み込みたい

6次産業化プランナーがアドバイス商品開発やマーケティングの専門知識を持つ6次産業化プランナーが、加工製造によるブランド作り、販路開拓などについて知識やノウハウを提供。

研修会や交流会を開催6次産業化サポートセンターなどが各種技術研修会やビジネス交流会などを開催。

国が補助金でサポート
新商品開発や販路開拓に係る費用を国が補助。6次産業化認定後は補助率が向上（1・2から2/3）

地元で加工施設を作りたい

国が補助金でサポート
農業法人の経営多角化、地産地消活動や、食品メーカーなどとの安定的な取引関係のもとに食品加工・販売所や農業機械・施設などの整備をする場合は、費用の1/2を国が補助。（申請は認定者に限定）

農作物の輸出にチャレンジしたい

6次産業化プランナーがアドバイス
海外市場や貿易に詳しい6次産業化プランナーが、輸出にあたっての様々なポイントをアドバイス。

農政局がサポート
輸出ビジネスのノウハウを学ぶセミナーや海外有力バイヤーを招く商談会などの紹介。また農政局・農水省が主催でこれらのイベントを開催。

事業化したいが資金面が不安な場合…

無利子融資を1億5千万円まで利用可能
認定後は、施設整備資金を個人で5千万円、法人で1億5千万円まで無利子で利用できます。

短期貸付を4000万円まで利用可能
認定後は、運転資金として新スーパース資金（無担保無保証人）を個人で1千万円、法人で4千万円まで利用できます。

都道府県の「6次産業化サポートセンター」については、P7の地域農政局ホームページまたは電話番号でお問い合わせください。
※1 農水省HP「6次産業化情報」
www.maff.go.jp/j/shokusan/sanki/6jika.html



6次産業化の先達たち その技・発想・情熱に学ぼう

今回の法制化の以前から、農業の新しい可能性を模索する多くの人が6次産業化への道に挑んできました。形はそれぞれ違えど、共通するのは、将来への危機感を持ち、自分たちの強みを活かすことで新路を開拓した点でしょう。そこには、あらゆる農家にとっての生き残りのヒントがあるはずです。



伝統のもち米や米粉で地域おこし。
滋賀羽二重糯は、「幻のもち」といわれる希少価値の高い上質のもち米。しかし栽培の難しさもあり栽培農家は減少。そこで小佐治のもち米のブランド力再興作戦が平成6年にスタート。集落が一体となり、生産・加工・販売の一貫拠点となる「甲賀もちふるさと館」を開設し、もち米による地域おこしにまで目標を高めました。よもぎあん餅などもち米を原料とした様々な製品づくりに取り組み、最近では、米粉商品の開発に着手。米粉めん、たい焼、パスタなどを製造し、6次産業化の先進事例となっています。



<http://www.koka-mochi.jp/>



夏みかん価格低迷期にマーマレードと米粉パン製造販売で打って出て、成功。
地元特産品であった夏みかんが価格低迷した時期、農家の主婦を中心とした生活改善グループ50名の共同出資で平成13年、有限会社を設立。みかんの加工食品マーマレードやジャム、また地域の米を原料にした米粉パンの加工販売に乗り出しました。幼稚園などを供給ルートとして開拓し、徐々に売上実績も向上。組織結成から9年経った現在は「道の駅」を拠点とした事業展開に力を入れ、年間売上高5千万円を超えています。



<http://izuminosato.fem.jp/index.html>



高付加価値商品の生産・加工とコスト低減による収益率アップ
柏崎青果では、県の特産物であるにんにくの規格外品を使った新たな製品開発を開始。元弘前大学医学部教授の協力を得て平成19年、おいらせ黒にんにくの商品化に成功。生のにんにくの約5.8倍のポリフェノール、活性酸素を抑える酵素の働きが約3.4倍という特長を持ち、にんにく特有の臭いを取り除いたこの製品は、はねもの(規格外)活用による収益性の高さも魅力。「第1回ものづくり新世紀 青森元気企業顕彰」なども受賞しています。



<http://www.aomori96229.jp/>



規格外作物のドリンク化で海外販路を開拓
合志市の特産物・大葉の規格外作物の有効利用を模索していた生産者が、公的機関や食品産業の協力体制をフルに活用しながら、新しい飲料加工製品を開発、成功に導きました。加工製品はしそドリンク、青しそ茶など、十種類以上。いずれも平成18年から生産情報公表JAS規格で生産している高品質大葉が原料。生産者は、新商品の模索時期から、県の産業技術センター、農業法人協会・起業塾などでアイデアを形にする生産技術、販売技法の習得に努め、6次産業化法制化以前の環境下で地域資源事業計画等を活用し、生産・加工・販売の一元管理体制を確立。現在、香港・シンガポール・イギリスなど海外からの受注もこなしています。



<http://shiso.net/index.html>



都市農家と多業種、大学の連携で長寿社会向けの加工商品を開発
大学発のベンチャー企業である食品製造・販売会社が、創価大学、八王子の農家、商工会などと提携。桑の新品種「創輝」の開発と加工食品のブランド化を実現させた産学公の連携6次化モデル。この新品種は血糖値上昇を防ぐDNJという成分を従来の桑より多く含む上、食物繊維やミネラルが豊富。平成17年より栽培され、加工・研究方法が模索された結果、平成20年より量産化に成功。独特の甘み・うまみとともに健康維持面での高い付加価値が消費者の評価を獲得しています。



<http://sohki.net/>



米生産から米粉ビジネスへ。親子が手を組んだ新たな事業モデル
米農家を営む父親とパン製造所を立ち上げた娘がタッグを組んで取り組んだビジネスモデル。父が経営する「MK農産」の米を委託製粉し、さらに放し飼いの有精卵を使って娘さんが地産地消の米粉パンの製造販売を開始。「米工房Jasmine」の名前で立ち上げたお店は、米・卵以外にも積極的に地元生産者の素材を使用した「こだわり」が大きな評価と共感を獲得、パン部門の売上は開店1年で4倍、農業部門の新規需要米の作付け面積も増大。地産地消という考え方の徹底、地域マスコミ、ロコミを活用したPR作戦が成功につながりました。農水省HP www.maff.go.jp/j/shokusan/sanki/6jika/jirei/index.html 6次産業化【100事例】北陸



農家を民宿化、癒し効果で都市の修学旅行を誘致
集落の過疎化、農業収入の減少を憂慮した農家が、同業の仲間や住民、地元観光業者などと連携。農家のグループが自家を民宿として、修学旅行生の受け入れを開始しました。旗振り役となったおた農園が平成9年、農村の持つ癒し効果を利用した農家民宿へ取り組んだのがきっかけ。翌年、同農園オーナーの説得で、30軒の農家が修学旅行の誘致に参加。地元観光公社や市役所なども巻き込み、集落全体の「観光力」を強化。現在は飯田・下伊那地域の数多くの農家が参加する取り組みとなり、8千~1万人の旅行客を受け入れるまでになっています。長野県下伊那地方事務所 www.pref.nagano.lg.jp/xthou/simoina/seisaku/man/kigyoo.htm



花卉の品種改良によるストーリー型マーケティングで成功
花壇苗を手がける花卉農家だった澤田農園オーナーは、絶滅危惧の植物「ハリツルマサキ」の突然変異種に赤いハート型の実がなることを知り、10年以上をかけて品種改良を行ないました。完成した新品種は「ハートツリー」のネーミングで世に出、誕生日やバレンタインデー、母の日のギフト商品として大ヒット。現在、インターネット販売を中心に、育て方パンフレットやギフト包装、メッセージカードなどのサービスを加え、物語性のあるアグリ・マーケティングとして各分野から高い評価を得ています。



<http://www.sawadafarm.com/>

6次産業化について。もっと知ろう、相談しよう。

6次産業化の推進については、地方農政局などが総合的な相談窓口を設けています。質問のある人、アドバイスを受けたい人はこの窓口まで。各都道府県の6次産業化サポートセンターも紹介してもらえます。

窓口担当部署	所在地	電話番号/HPアドレス	担当する都道府県
北海道農政事務所 農政推進部経営・事業支援課	〒060-0004 北海道札幌市中央区 北4条西17丁目19-6	☎011-642-5485 www.maff.go.jp/hokkaido/network	北海道
東北農政局 経営・事業支援部事業戦略課	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区 本町3丁目3番1号 仙台合同庁舎	☎022-221-6146 www.maff.go.jp/tohoku	青森県、岩手県、宮城県、 秋田県、山形県、福島県
関東農政局 経営・事業支援部事業戦略課	〒330-9722 埼玉県さいたま市中央区 新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館	☎048-740-5341 www.maff.go.jp/kanto	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、 東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県
北陸農政局 経営・事業支援部事業戦略課	〒920-8566 石川県金沢市広坂2丁目2番60号 金沢広坂合同庁舎	☎076-232-4233 www.maff.go.jp/hokuriku	新潟県、富山県、石川県、福井県
東海農政局 経営・事業支援部事業戦略課	〒460-8516 愛知県名古屋市中区三の丸 1丁目2番2号 農林総合庁舎1号館	☎052-746-1215 www.maff.go.jp/tokai	岐阜県、愛知県、三重県
近畿農政局 経営・事業支援部事業戦略課	〒602-8054 京都府京都市上京区西洞院通 下長者町下ル丁子風呂町	☎075-414-9024 www.maff.go.jp/kinki	滋賀県、京都府、大阪府、 兵庫県、奈良県、和歌山県
中国四国農政局 経営・事業支援部事業戦略課	〒700-8532 岡山県岡山市北区下石井 1丁目4番1号 岡山第2合同庁舎	☎086-224-9415 www.maff.go.jp/chushi	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州農政局 経営・事業支援部事業戦略課	〒860-8527 熊本県熊本市春日2丁目10番1号 熊本地方合同庁舎	☎096-211-9319 www.maff.go.jp/kyusyu	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、 宮崎県、鹿児島県
沖縄総合事務局 農林水産部食品・環境課	〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち 2丁目1番1号那覇第2地方合同庁舎2号館	☎098-866-1673 www.ogb.go.jp/nousui/index.html	沖縄県

このコーナーの情報は、平成24年3月現在のものです。



枚方市農園 杉・五兵衛を訪ねる

風景、作物、料理、動物たち すべてが繋がって、6次産業化です

大阪府枚方市の郊外。「杉・五兵衛」と名づけられた広い農園で農業を営みながら、レストラン経営を続けている人がいる。野島五兵衛さん。園内の農作物を料理・提供する食農型ビジネスを40年前に始めた、「6次産業化」の先駆的人物。循環型有機農法と食農文化伝承の実践者でもある。ご自身のこれまでに重ねて、新しい時代の農のビジネスモデルについて語っていただいた。



杉・五兵衛オーナー
野島五兵衛さん
戦国時代から数百年続く農園で「農と食」の事業を営む。日本農業法人協会副会長・政策委員長。

作物を正當に売るために、味噌も、醤油も使うんや。

杉・五兵衛オーナー野島五兵衛さんは、自らを専業農家と言いつける。老舗グルメ雑誌やテレビ番組でも頻りに取り上げられた元祖・農園レストラン。部屋数18室、収容人数200人の大型飲食店を営む野島さんが「俺は農耕だけで食ってるんや」と笑う。その理由をたずねると――。

「昔、国はこのレストランの収入を農業収入とは認めなかったんです。そこで俺はこう言いました。自分はこの農場で作った野菜を



素朴で美味な農園会席

正當な値段で買ってもらうために、昆布やら醤油を使う。ちよつとしゃれた器に載せてお客さんに出すこともある。つまり、農業の「環」としての加工・販売なんや。農家が作物を売るために使うダンボール代や運送費が経費になるのやったら、うちの昆布や醤油代もおんなじでしょ」と

野島さんのこの主張を、国は認めざるを得なかった。

それはかなりではない。のちに、「ここで実践されていることが、理想の農業」とまで認めたのである。

さまざま農の可能性が息づく、野島さんの農園。

国をして「理想の農業」と言わしめた、野島流の農のスタイルとは、どんなものなのか？

レストランを開いて広がる野島さんの農園には、野菜畑がある。水田がある。ブドウ園とイチゴハウスがあり、山菜やタケノコが生える林がある。春には梅や桜が咲き、秋



野趣あふれる客室

ロバは有機循環農業の主役だ



日本農業6次産業化の時代へ | 08

よそからは持つて来れない
価値があれば負けへんのや。

1972年。この地で、戦国時代から代々営まれてきた農業という仕事と5haの畑を、野島さんはお父さんから受け継いだ。物心ついた頃から家業継承の意識は強かった。だから、大学も農学部へ進んだ。だが22歳の若者の胸の内にあった農業の青写真は、父の世代のそれとは大きく異なっていた。

「その頃は、農家は一つの基幹作物を効率よく生産すべし、というのが国の政策だった。うちのこの農場もほとんどが芋と大根の畑。そこで効率よく同じ野菜を作れば安泰というわけです。けど、10年、20年先は、確実によその大型生産地と闘うことになる。さらにその先は、海外と競り合う時代が確実に来る。効率生産の量と価格で、北海道やオーストラリアに勝てるわけがない。俺はそう予測してました」

当時この考えを理解する人はほとんどいなかった。人新しい道を模索するうちに、野島さんは「農」とは何かという根源的な疑問にぶち当たった。お腹を満たすものを作るだ



京の造り酒屋の酒蔵を移築したレストラン



園内の有機作物の加工品が店内に並ぶ



実をつけたサクランボ



田舎裏のある客室

野菜のへたなど
畑の雑草や野菜の残渣がロバのエサに。

堆肥
ロバの糞を微生物の力を借りて発酵させ堆肥化。

世話
自家製の堆肥とばかし肥料だけで野菜を育成。

収穫加工
地下水を利用して野菜本来の味を活かす料理を手作り。

農園 杉・五兵衛 有機循環農業の輪

野島さんは大学の4年間をかけて観光農園を徹底研究し、大反対だったお父さんを説得、卒業と同時に、広大な畑に食の庵を建て、樹木を植え、種を撒き、花を咲かせて農園に変えていった。

国が指定した6次産業化の「ボランティアプランナー」でもある野島さんに「6次産業化」とは「質問をぶつけてみた。

枚方市は、京都と大阪の間にあるベッドタウン。神戸にも近い。休日には、関西三大都市から、家族連れなどを気軽に呼び込める土地だ。その場で穫れた農作物と自然の景観を、消費者が五感で楽しめるようにすれば、ビジネスとして成立するはずだ。

農の心と文化からはじまる、
6次産業化があつていい。

「6次化の6は1x2x3というけど...6の中には、4次・5次産業、つまり教育や情操、福祉やなんかが入ってる。俺は、実はこっちのほうが大事やと思います」

返つて来た答えは「...ここにつくしが2本あるとする。これが何千本も収穫すれば市場の競りに出してもまいった値がつくけど、たった2本では値もつきませんやろ。そこで俺やったら、この2本のつくしを押し寿司にする。つくしの横に咲いた菜の花も添えてやる。そうしたら、春の風情や、ええなあ、と買ってくれる人が出る。つくし2本に正當な値段がつく。そういうことと違いますか」

日本の農業は長い間、生産者と消費者が切り離されて来た。農業の生産の場にある自然、四季、日本情緒という価値ごと、農作物を加工・販売する。野島さんはそのようにして6次産業化を先駆けて来た。その言葉が生まれる40年以上も前から、である。そんな立場から見ると、「6次産業化」という概念そのものに、新たな解釈を加えたい、と言う。

それは、命・環境・食といった農業にまつわる文化や精神性を、子どもや若い世代へ伝えることだ。杉・五兵衛の農園内で子どもやファミリーを集めて行なう体験農園ツアーや楽農まつりは、そんな野島さんにとって、現在、最も重要な「6次産業化」領域である。

また、この農園では30人近い若者たちが働いている。植物・土・動物の連鎖が作る有機農法と豊かな食文化を実践的に学ぶ彼らの姿は、野島さんにとって「6次産業化」の結実といえる。

「数で勝負しても、よそにもっと大きいヤツがおる。値段で打つて出ても、おんなじ。しかし、心の豊かさは比較できへん。そこに価値をつけていくことが、遠回りかもしれないが、一番大事な6次産業化と違うやろか」

我が国の食と農林漁業の再生のための 基本方針・行動計画

昨年10月、政府は、持続可能な力強い農業育成のためのこれまでの検討を踏まえて「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」をまとめた。農林水産省では、平成22年に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」に基づく食糧自給率の50%達成等を目指すにあたり、今回の基本方針・行動計画に沿って施策を実施していく。

戦略① 持続可能な力強い農業の実現

- 新規就農を増やし、将来の日本農業を支える人材を確保する
- 平地で20~30haの土地利用型農業を目指す

1 人・農地プラン(地域農業マスタープラン)の策定

◆徹底した話し合いを通じ、今後2年間程度で、人と農地の問題を抱えるすべての市町村、集落で人・農地プラン(地域農業マスタープラン)を策定
【4次補正:2億円、24予算:7億円】

2 新規就農の増大

◆青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るための給付金の給付等

当面の施策等

○就農前後の青年就農者に対する給付金の給付、法人雇用就農の促進、就農希望者や経営発展を目指す農業者への農業経営者教育の強化【4次補正:23億円、24予算:136億円】

青年新規就農者を倍増(毎年約2万人)

3 農地集積の推進

◆戸別所得補償制度により、農地の受け手となりうる多様な経営体(個人、法人を含めた販売農家と集落営農)について、幅広く経営安定を図った上で、規模拡大加算や農地集積協力金の交付等により農地集積を加速化

当面の施策等

○戸別所得補償制度の適切な推進【24予算:6,901億円】
○集落での話し合いにより、今後の地域の中心となる経営体を定め、そこへの農地集積や、分散した農地の連坦化に協力する者への協力金を交付【24予算:65億円】
○けい畔除去等による区画拡大を含め、ほ場の大区画化を推進【4次補正:801億円、24予算:220億円】

5年後に、目標規模の経営体が
耕地面積の大宗(8割程度)に

【】…4次補正:23年度4次補正 24予算:24年度予算



戦略② 6次産業化・成長産業化、流通効率化

1 6次産業化の推進

◆「農林漁業成長産業化ファンド」の創設、6次産業化の先進・民間の専門家(ボランティア・プランナー、6次産業化プランナー等)を活用した農林漁業者等の経営を改革

5年後に、6次産業の市場規模を
3兆円、10年後に、10兆円に

2 輸出戦略の立て直し

◆原発事故の影響への対応、国家戦略的マーケティング等を通じ、輸出戦略の立て直し

平成32年までに、農林水産物・食品の輸出額を1兆円水準に

3 日本農業の持ち味の再構築

◆環境保全型農業、農業生産工程管理(GAP)、危害分析・重要管理点(HACCP)などの取組の拡大等

「美味しい」「安全」「環境に優しい」といった持ち味を再構築

戦略③ エネルギー生産への農山漁村の資源の活用促進

◆地域主導で再生可能エネルギーの供給を促進するため、農林地の所有権移転等の促進や土地利用手続の簡素化等を図る制度の検討
◆自立・分散型エネルギーシステム形成に向けた取組

戦略② 競争力・体質強化 6次産業化・成長産業化、流通効率化

競争力・体質強化
6次産業化・成長産業化、
流通効率化

戦略③ エネルギー生産への農山漁村の資源の活用促進

エネルギー生産への
農山漁村の
資源の活用促進

戦略④ 森林・林業再生

森林・林業再生
木材自給率50%を目指し、
森林・林業再生プランを
推進する

戦略⑤ 水産業再生

水産業再生
近代的・資源管理型で
魅力的な
水産業の再生

戦略⑦ 原子力災害対策に正面から取り組む

原子力災害対策に
正面から取り組む

戦略⑥ 震災に強い農林水産インフラを構築する

震災に強い
農林水産インフラ
を構築する

農林漁業再生のための7つの戦略

YANMAR NEWS



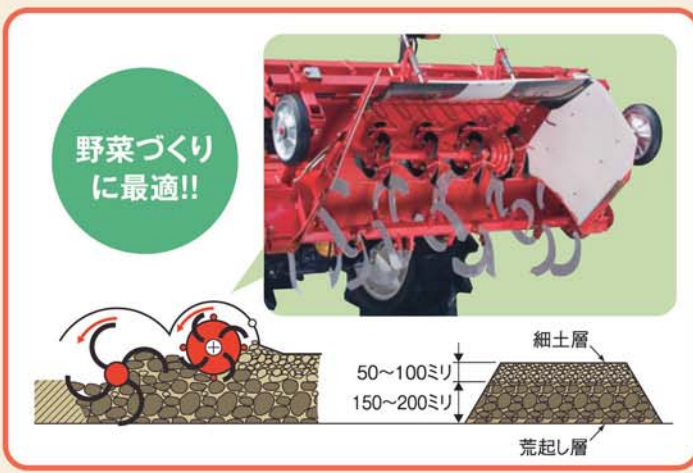
水田裏作・転作畑の野菜づくりに最適! 湿害防止と省力化が実証試験で明らかに。 ヤンマー二軸整形ロータリ(表層細土整形ロータリ)



**表層は細土、下層は荒起し
うね立て・マルチ・播種
まで二行程で**

平成16年以降、野菜の産出額は米を上回り、水田裏作や水田転換畑での野菜栽培が増えています。しかし、水田活用で高品質・収量の安定した野菜生産を目指すには、排水性が良く適度な保水性を有した土壌構造にするなど野菜栽培に適した土づくりやうねづくりが重要になってくる。

そうした課題を解決するためにヤンマーが開発したのが「二軸整形ロータリ」(表層細土整形ロータリ)だ。耕うん軸と砕土軸の2つを有することによって表層の土は細かく砕き、下層は粗い土塊に耕す(図参照)。その結果、排水性と土壌構造が改善されて苗の活着や根の伸長に良い影響を及ぼす。また能率面でも、耕うんしながら同時にうね立てやマルチ、さらに播種まで二行程で行うことができるため、作業時



間や労力の大幅低減も実現でき、大きな期待が寄せられている。

すでに実用化されているが、さらなる技術の確立と普及に向けて、新稲作研究会(事務局:財団法人農業技術協会)では全国で実証試験を行っている。異なる野菜を使って、二軸整形ロータリによる排水性の改善効果や土壌粒子との関係、作物の生育・品質・収量、経営面の効果などを調査。その内の3ヶ所(徳島・ホウレンソウとプロッコリー、秋田・エダマメ、滋賀・カボチャ)から中間結果を持ち寄って関係者が討議する検討会が昨年12月9日、JA徳島会館で開催された。いずれの実証試験でも二軸整形ロータリならではの効果が明らかにされ、高品質な野菜の省力安定生産技術として普及が期待できる。その概要をレポートする。なお、徳島では特産の「なると金時」栽培の省力化で最も求められている挿苗作業の機械化(ヤンマーかんしょ挿苗機)の試験も行われたので、併せて紹介する。

中間試験結果発表 実証された成果の数々

徳島 ホウレンソウ・プロッコリー

湿害による黄化症対策に効果大、生育不良も回避



佐藤佳宏 専門研究員兼科長



小川仁 主任

水田裏作野菜の主要品目・ホウレンソウは秋冬期の長雨や大雨による湿害で黄化症が発生し品質低下や収量減少を招きやすい。しかし二軸整形ロータリは排水性がよく土壌が乾燥気

現地試験ほ場を視察 技術の成果を実感

以上の試験結果報告を受けて検討会では活発に質疑応答や討論、意見交換が行われた。ヤンマー(株)からも丸山高史・関連商品推進部長が開発の狙いと特長を説明し、「他の作物でも対応できるような研究・開発を重ね、様々な条件の水田裏作や転換畑で安定した野菜作りができるよう貢献していきたい」と述べた。最後にヤンマー(株)中根康有専務が「当社はお客様の問題に対応しそれをクリアする技術や栽培方法を提案してまいります。農家や地域の課題をどんどん寄せたい」と呼びかけ、中間検討会の幕を下ろした。

午後からは現地ほ場の視察に移り、ホウレンソウの実証試験の模様とヤンマーかんしょ挿苗機の実演を見学。参加者はホウレンソウの生育ぶりを観察し「うねがきれい」「葉色がよく草丈もちょうどいい」「灌水の有無でも大きな違いが出ている」と感想



新稲作研究会 丸山清明座長

秋田 エダマメ
**同時マルチ作業で初期生育が
良くなり、早期安定出荷も可能に**
秋田県農林水産技術センター／農業試験場



齋藤雅恵 研究員

味で、黄化症も出ず収量も多かった。また水田裏作のプロッコリーは稲収穫後に耕うんしたあとうねを整形すると湿害で生育不良になりやすいが、事前に耕うんせず二軸整形ロータリで発細土整形うね立てすると、根域から水が排出されやすくなるため障害を回避できることがわかった。刈株が残る状態でもうねが立つの心配したが、きれいにできて驚いた。作業の効率性や経営面でも利点が多い。

徳島 サツマイモ
**作業時間と労力が
低減でき品質も向上。
規模拡大に大きな期待**
徳島県立農林水産総合技術支援センター／農業研究所



福永泰也 氏

り回転速度を変えて、耕うん・うね立てを調査した。土壌含水率が18〜20%程度の場合、慣行より二軸整形ロータリの方が上層の砕土率が優れ、土壌水分が低いほど根鉢全体に土がかぶり移植精度が上がった。また、葉の大きさや蔓も長く育ち、果重も重く、大玉割合が高くなった。作業時間も短縮でき、作付け拡大が期待できる。そのため、二軸整形ロータリを用いた耕うん同時うね立て作業は、省力技術体系の1つとして有望と言える。

滋賀 カボチャ
**土壌水分が低いほど移植精度や
生育が良好。規模拡大も期待**
滋賀県農業技術振興センター

具をあげて推進しているカボチャを排水の悪い硬く乾いた水田後ほ場でも作れるようにと、異なる土壌水分の試験区で、ロータ

「なると金時」の栽培では挿苗作業は手で行われており、規模拡大を目指すには機械化による省力化が課題になっている。そこでヤンマーかんしょ挿苗機を使って省力効果や最適な栽植密度の検討を行った。欠株がほとんどなく植え付け精度は高レベル。重要なのは売れるイモがとれるのだが、株間42cmが最も収量が多く、特にS〜2Lは手植えより16%の増収となり収益向上も期待できる。品質差が生じるのは土壌水分が大きな原因で、機械植えの方が降雨後も土が乾きやすいため好結果が出たのだろう。能率も手植えの3倍で、大規模化を目指す農家にとって適用性が高い技術だ。



林博昭 専門研究員兼科長



かんしょ挿苗機の実演

関係者コメント



近年、水田を利用した野菜作が増えており、排水性改善や省力化効果が期待できるこの技術に取り組んだ。活発な意見を交換し実り多い会議にして、技術の確立や普及につなげよう。

(財)農業技術協会 吉村正機副会長



管内は中山間地に水田が多い。そこに土地利用型作物を導入するのも大事だが、中国四国地域の農業の推進エンジンは野菜だ。この新技術は野菜栽培の諸問題を解決してくれると期待している。

農林水産省中国四国農政局 川口尚生生産部長

この「先進農業事情」は、各地で意欲的に農業に取り組んでおられる人々を紹介するページです。稲作・畑作そして酪農・畜産の分野で、自分の意志で進んだ農業に誇りを持ち、従来のやり方に独自の工夫を施して営農されている方々です。



寝床に海砂が敷かれて安全・快適なフリーストール牛舎、バキュームスワイパーで清潔に管理されている

は作らなくて済みますね。牛の汚れ方も全然違うし、病気も少ないですよ」
牛舎の管理ではその他に敷材として細かい海砂(標茶町産)を使っているのもポイントだ。無機質で不純物が少なく細菌が付きにくい海砂が、乳房炎になりにくく、牛が寝た時も寝床が砂なのでストレスがなく、圧迫されがちな関節や腰骨にも負担が少ないという。また、牛がパラーに向かうためにコンクリートの坂道を歩く時にも、足に砂がついているので滑り止めになり、けがも激減するそうだ。



綿密に肥料設計された餌をおいしそうに食べる乳牛

牛の栄養管理の決め手になる「良質の飼料づくり」にも中山さんは徹底的にこだわる。約300haで栽培している牧草とデントコーンの収穫はコントラクターに自走式ハーベスタ等を貸して作業を委託しているが、その際も適期作業や細断長を守らせるのはもちろんのこと、サイロに土やほこりを持ち込まないよう厳しく注意させている。そのためサイロまでの道を舗装して鉄板を敷くという念の入れようだ。「刈り取った牧草を運んでくるトラクターは畑の土をそのままタイヤにつけて走ってくるうえ、サイロの前が砂利道などだと、サイロに牧草を投入する時に土や小石が結構入るんですよ。そうするとサイレージの品質が落ちますからね」

理想的なTMRを追求し8メニューに分けて給餌

サイレージの生産も丁寧。水分だけでなく長さも16ミリと11ミリにきっちり刻まれているかどうかふりにかけて確認し、乳酸菌などを適量添加。できたサイレージをベースにミキシング装置でピートパルプや濃厚飼料などを混ぜて理想的なTMRを作る。



MONO22ミキシングフィーダ(イタリア・スガリボルディ社製)を牽引するジョンディアトラクタ・JD6630

「餌料設計は専門の栄養設計士に依頼しています。素材はアルファルファや育成用の乾草、肝機能障害を防ぐものなど合わせて23品目。その組み合わせをステーション別に変えるので8メニューになります。細かく分けないと体調管理を高いレベルで保てていけません。乾乳牛の管理さえきっちりしていれば、牛乳もたくさん出て乳質も向上しますし、種が受胎しやすく、牛の分娩時の事故や乳房炎などの病気が激減します。特に分娩後の体調はグラスサイレージ主体で組んだ設計とは比べ物になりません」

ジャージ種の導入や乳製品の加工にも意欲



繊維質にタンパク質やビタミン、ミネラルなどがブレンドされた高栄養の餌



デントコーンも栽培

「2年に1回はアメリカに視察に行きます。技術も機械も牧場経営自体もはるかに進んでいるので勉強になりますね。昨年導入した糞尿処理作業機バキュームスワイパーも見学した牧場で使っているのを見て「作業効率が一番いい! 労働軽減になるし、牛舎を清潔に保て牛の健康管理にも役立つ」と確信しました。日本で第1号だそうなんです」と声を弾ませる中山さん。

FAN FAN YANMAR
若い頃からジョンディアトラクタに惚れ込んでおり、自走式フォールディングハーベスタ7500をはじめ、ジョンディアトラクタ7000-6630も2台所有しています。頑丈でパワフルなので、大型酪農には欠かせません。飼料用のヤンマー小型トラクタ(ke-1)もカがあり、重宝していますよ。

「それまではタイヤショベルで25回位押さなければならなかったし、糞尿がショベルから溢れて寝床に入ってしまうこともありました。それと比べてこの機械は10倍ほど速くて効率的。しかも1回で終わります。酪農の仕事で時間と人手が一番かかり嫌がられるのが糞尿処理作業。時間が短縮でき、従業員も1人減らせるぐらい。新しく牛舎を作る時、ピット



アプレストミルバレー。1度に24頭搾れ、1時間で100~150頭搾乳する



経営規模: 飼養乳牛頭数 1,030頭(経産牛650頭、育成牛と子牛380頭)、年間出荷乳量 6,100トン、牧草地291ha(内トウモロコシ100ha)

欧米の先進技術を積極的に導入

高品質でおいしい生乳生産にまい進! 日本を代表するギガファームを目指す

来、頭数や草地面積を増やす一方、積極的に大型機械やフリーストール牛舎・アプレストバレー等を導入して経営の改善と近代化に努めてきた。そして創業54年目を迎えた現在、乳牛数1,030頭(経産牛650頭)、年間出荷乳量



中山貞幸代表 バックはJD6630とバキュームスワイパー

この地に入植し就農した祖父から数えらるる3代目にあたる中山さんは、父が始めた牧場経営を引き継いで代表だ。

数は何と人口の7倍の約12万頭。生乳生産量は年間約47万トンにのぼり、味は濃くて甘い。まさに「日本の酪農王国」だ。しかしその地位に安んじることなく、未来に目を向け常に挑戦を続ける酪農家が大勢いる。その一人が(株)別海ミルクワールドの中山貞幸代表だ。



広大な牧草地

北海道の最東端、オホーツク海に面する別海町。東京23区の2倍以上ある広大なこの町は、どこまでも見渡す限り緑の牧草地が続く。所々に牧場が点在する。牛の

地域でトップクラスのメガファーム

6,100トン、牧草地約300haまで規模拡大を果たす。これは個人経営の牧場としては地域でナンバーワン、別海町と隣の根室市(円)をカバーするJA道東あさひ管内でもトップクラスだ。平成22年5月には家族の労働軽減と経営の合理化を図るため、株式会社を設立し従業員を雇用した。総勢18人体制となり、3年後には1,000頭搾乳、将来的には数千頭規模までもつていきたいと計画している。町内の平均的な牧場は50~80



中山代表、陽子夫人(後列中央)、野田茂久場長(後列右端)を中心に、現在、役員、社員合わせて18人体制で仕事をしている

牛の健康管理に注力し衛生的で快適な牛舎

「2年に1回はアメリカに視察に行きます。技術も機械も牧場経営自体もはるかに進んでいるので勉強になりますね。昨年導入した糞尿処理作業機バキュームスワイパーも見学した牧場で使っているのを見て「作業効率が一番いい! 労働軽減になるし、牛舎を清潔に保て牛の健康管理にも役立つ」と確信しました。日本で第1号だそうなんです」と声を弾ませる中山さん。



日本で第1号の除糞作業機「バキュームスワイパー」牽引するのはジョンディアトラクタ



経営規模:米40ha、トマト50a、冬野菜(ホウレンソウ、ミズナ、コマツナ、チンゲンサイ)15a、他に作業受託(米の収穫と乾燥調整)、飼料生産

青森市でトップクラスの個人経営規模!

米と野菜を組み合わせ、低農薬にこだわって 収益性の高い大規模複合経営を確立

**消費者が喜ぶ作物を作る
この信念にこだわりつづける**

米(40ha)・トマト(50a)、冬の寒締め野菜(15a)の他にも、大柳農園はいろいろな仕事を手掛けている。作業受託はかなりの面積を受けているし、転作田には牧草を植えサイレージを作って稲わらと一緒に畜産農家に販売している。これだ

**特別栽培米を直売
販売ルートも多様化**

メインの米(品種は「つがるロマン」)も、県の認証を受けた低農薬米の他、さらに味と品質にこだわった特別栽培米を契約栽培し、米穀業者だけでなく前述のトマトや冬野菜と同様、青森市内の生協やレストランなど多様な販売ルートに直売している。作付けしている40haのうち45haでは、仕事の平準化や作業時期の分散、省力・低コスト化を目的に乾田直播を実施。
「乾田直播は、湛水直播と比べて播種期間が長いし、カルパコーティングも不要なので、規模拡大やトマトを組み入れた複合経営が成立しやすいと思います。ここは温暖で湿度が高いし、直播機の精度も高いので、生育は良好だし収量も移植と変わりません。雑草対策も効果の高い除草剤があります。異常気象に対しては、例えば播種時期に大雨が予想される時には播く日を早めるなど適切な対策を講じて乗り切ります。管内では湛水直播が主流ですが、うちの成果を見て乾田直播の面積もこれから増えてくると思いますよ」

**低農薬のトマトと冬野菜で
ハウスを周年利用**

八甲田山をのぞむ青森市は、この冬、大雪に見舞われた。山も川も田畑も見渡す限り白一色の中、大柳農園では大きなパイプハウスの中で、ご主人の大柳壽憲さんと奥さまの生子さんが寒締め



大柳壽憲さん。何事にも几帳面な性格もあって、作物の栽培管理にも余念がない



寒締め縮みホウレンソウの出荷準備をする奥さまの生子さん



ご子息の大柳壽秀さんご一家

**平成23年度功績者として
大日本農会からも表彰**

28歳で父親をなくし大柳農園を引き継いだ大柳さんは、37年にわたって機械

けの大規模な営農は、個人経営では大柳さんが市内でナンバーワンだ。どんなに面積が増えて忙しくなっても、昔から低農薬や味・品質にこだわってきたのは、「消費者が喜ぶ作物を作りたい」という信念から。エコファーマーや県の低農薬認証を受けたのもそのためだ。また、研究会や講習会、新技術の実証試験などにも積極的に参加し、栽培技術を磨き、市場のニーズが分かる情報を集めている。もちろん日々の作業はご夫妻とご子息の壽秀さん(36歳)の家族3人だけではこなせないで、アルバイトを雇っている。地域の人を優先して雇用するのは、「働く場を提供することで楽しみや生きがいを持つてほしい」という思いからだ。



こだわりのトマトと冬野菜を栽培する大型ハウス。幅10m、奥行き80m、高さ6mと、高く大きいだけでなく、パイプが太くて12mごとに補強パイプが入っている。屋根の角度なども雪が滑りやすい設計で、今年2月の積雪1.3mにもびくともしない



大型ハウスの中で出荷を待つ寒締め縮みホウレンソウ

縮みホウレンソウの収穫・出荷に追われていた。
「経営の柱は米で、40ha作っています。それと比べると冬の葉物野菜(ホウレンソウ、ミズナなど)の寒締め栽培は全部で15aと少ないですが、冬季の貴重な収入源になります。寒締め栽培とは、収穫間近の作物を気温が5度位まで



「大日本農会」総裁・桂宮宜仁親王殿下からいただいた緑白綬有功章と賞状

柳さんに「緑白綬有功章」が贈られたのである。
先ごろ大柳さんは経営権を壽秀さんに移譲した。「息子はやる気満々です。今年は米を10ha増やす予定なので、50haを突破します。県の認証野菜の生産にもより一層熱心に取り組んでいます。一人で頑張っても限界があるから、自ら手本になるようないい仕事をして、将来右腕になる人を育てる。それが彼の課題ですね」
そう語る大柳さんの瞳の奥には後継者への信頼と期待が溢れていた。



除雪に大活躍のヤンマートラクタAF660



寒さにあて、葉が縮んだ寒締め縮みホウレンソウ。緑が濃く肉厚の葉が甘みを増し、エグミもないから、サラダなど生でも食べられ、おいしい

下がった時にハウスの窓をわざと開けて寒さに当て、甘さと栄養価を高める栽培法です。作物は寒さに耐えるために自ら葉に糖分やビタミンをため込むという能力があるので、それを利用してのもです。元々夏の間、このハウスでは、西日本産のトマトが「成り疲れ」して品薄になる後に出荷するトマト(品種は「桃太郎8」)を作っています。有機農法を採り入れ県の指定低農薬野菜の認証を受けたこだわりのトマトなので、綿密な施肥設計に従って有機肥料を施しますが、土の中に窒素分など前年の肥料が残っていたら肥効が狂い悪影響が出てきます。そこで、トマトの後作として吸肥力が強いホウレンソウなどの一年草を植え付け、残留肥料を吸肥させているのです。夏のトマトと、冬の寒さを利用した寒締め野菜を組み合わせることで、雪に閉じ込められた真冬でも仕事があり、燃料代をかけずに収益が上がり、ハウスも周年利用でき、まさに「二石三鳥です」とニコニコ顔の大柳さん。

FAN FAN YANMAR
これだけの経営をやっていくには機械整備もきちんとしないといけません。農業機械はほとんどがヤンマーです。ガムになるまで使い切るのではなく、能率を上げるために定期的に更新しています。だから毎年、何かを1台ずつ購入していますね。

NEW ヤンマーたまねぎ収穫機

HT20A 2条掘り



裸地

マルチうね

整列放出

●1畦4条植えを2条ずつ、往復で収穫。掘ったたまねぎは1列にキレイに並べていくため、後作業がスムーズです。

葉切りカッター

●葉切り高さが4~20cmに無段階調節できるため、青切り出荷・コンテナ貯蔵・結束吊り下げ貯蔵などの形態に対応できます。

パワートレッド

●パワートレッド機構の採用で、うね合わせが簡単にでき、軽トラに積込み可能。ほ場間移動もラクラクです。

マルチキット

●マルチキットを装着することで、マルチ栽培に対応。フィルムのすそをブレードで起こしながら、掘取刃でたまねぎを確実に掘起こします。

■主要諸元

型式名 区分	HT20A(L) 裸地	HT20A(L)MSFT2 マルチ
機体寸法		
全長(mm)	2030	1250(作業時:1450)
全幅(mm)		1940
全高(mm)	1130[1085]	1220[1175]
機体質量(kg)	258[262]	279[283]
エンジン		
種類	空冷4サイクルガソリンエンジン	
総排気量(L(cc))	0.126[126]	
定格出力/回転速度(kW(PS)/rpm)	2.3(3.1)/1800(最大:3.0(4.1))	
走行部	1150~1350[1080~1280]	
トレッド(mm)	前進3・後進1	
変速段数(段)	2	
掘取条数(条)	2	
掘取部		
条間(mm)	200~240	
葉切り高さ調節範囲(mm)	40~200	
適応うね高さ(mm)	150~300[50~150]	
作業効率(計算値)(時/10a)	2.0~4.0	

※[]は低うね仕様。

NEW ヤンマー歩行型たまねぎピッカー

HP90T



空コンテナの積載量が大きくアップ!

●空コンテナの積載量が42個になりました。これにより100m長のほ場での作業も1工程で行えます。

機械を停止せずに連続作業が可能。

●たまねぎを受けるコンテナは、満量になると1つずつうねの上に排出します。また、コンテナは連続供給ができます。

■主要諸元

型式名 区分	HP90T
機体寸法	
全長(mm)	2315(収納時:2155)
全幅(mm)	2270(収納時:1385)
全高(mm)	1585
機体質量(重量)(kg)	425
エンジン	
種類	空冷4サイクルガソリンエンジン
定格出力/回転速度(kW(PS)/rpm)	2.3(3.1)/1800
排気管(mm)	790
取替方式	コンテナ
作業効率(計算値)(時/10a)	2.5~3.0

NEW ヤンマー人参考収穫機

HN100,F 高能率1条掘り

クラス最大0.84m/s
最大22,000本/hの
高速作業を実現!

※は場条件による



最大積載量が200kgの
フレコン仕様。



フレコンバックの
荷下ろしもラクラク!



収穫のタイミングを逃さない!



■主要諸元

型式名 区分	HN100F フレコン仕様
機体寸法	
全長(mm)	3515(作業時:3360)
全幅(mm)	1625(作業時:2140)
全高(mm)	1600
機体質量(重量)(kg)	980
エンジン	
種類	水冷2気筒立形ディーゼル
総排気量(L(cc))	0.569[569]
最大出力/回転速度(kW(PS)/rpm)	8.8[12.0]/3000
基盤長さ(mm)	250~800
入替長さ・太さ(mm)	300以下・15~75
掘取条間(mm)	1条150以上
適応うね高さ(mm)	200以下
作業効率(本/h)	10,000~22,000
適応フレコンバック	ヤンマー純正フレコンバック(コードNo:1E3250-4890)

NEW ヤンマー全自動野菜移植機

PF1 1畦1条植え・往復2条植え

植付速度2段&広い株間選択範囲

●標準仕様では、最近の野菜の小球嗜好に対応できる狭い株間20cmにも対応。また、ロング株間キットも用意しています。

■株間範囲(cm)

植付速度(m/s)	PF1 (標準仕様)	PF1.L (長株間仕様)	林間31-68組替キット 装着時(オプション)
1速(0.45m/s)	20~38	27~51	31~59
2速(0.52m/s)	23~45	31~60	36~68

樹脂製覆土ローラ

●軸部への土の入り込みを防ぐ、カバー樹脂製覆土ローラを採用。

植深さツインセンサ

●機体前方の鎮圧ローラ(フロントセンサ)により、うねの始まりから植付けができ、枕地での手作業が少なくなります。

レバー手元集中

●操作レバーが手元に集中。操作がラクに行えます。

S爪

●苗取り爪は、幅広のS爪を採用。高速作業でもしっかり苗をキャッチします。

近年、白菜などは若い苗(根張りが不十分)を植付ける傾向にあります。その場合は苗をブロックごと抜き取るフォーク爪(オプション)をご使用ください。



■主要諸元

型式名 区分	標準・1畦1条	PF1 往復2条
機体寸法		
全長(mm)	980	2165
全幅(mm)	1160	1310
全高(mm)	205	225
機体質量(重量)(kg)	205	
種類	空冷4サイクルガソリンエンジン	
エンジン	0.098[98]	
総排気量(L(cc))	1.6(2.2)/1800	
定格出力/回転速度(kW(PS)/rpm)	2.2(3.0)	
最大出力(kW(PS))	1	
植付条数(条)	1	1(往復2)
掘取部		
条間(mm)	100~700	
植付方式	開孔器	
作業効率(時/10a)	1.2~1.7	
適応作物	キャベツ・はくさい・ブロッコリー・レタス	
適応トレイ	(農水省規格)25角・200穴・30角・128穴	

NEW ヤンマー乗用全自動野菜移植機

PF2R 1畦2条植え・1畦1条植え

乗用全自動2条植え

●歩行型全自動野菜移植機の約2倍の高能率作業が行えます。しかも乗用型なので作業者の疲労も大幅に軽減されます。

●苗つぎ回数を少なくするため、野菜トレイは苗載せ台に4枚、予備苗台に12枚の合計16枚積載可能。苗つぎのタイミングは警報ブザーで知らせてくれるため、空植えの心配がありません。

自動植深さ制御&植付部フローティング機構

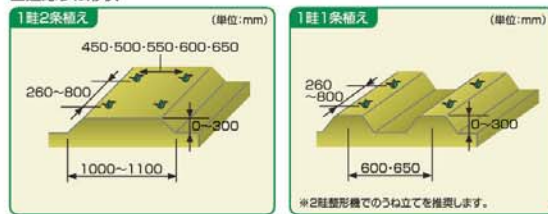
●溝の凹凸やうね高さの変化のみならず、うね上面の小さな凹凸や左右で違う高さのうねにも追従できるため、精度の高い植深さ制御が可能です。

新ペダル変速"e-move"

●変速操作に気を取られることなく、運転に集中できます。しかも無段階変速で、ほ場に最適なスピードで作業ができます。

●ペダルを操作すればクラッチ・ブレーキが運動して作動するため、苗つぎ時の煩雑な操作がありません。また、坂道でも安心して停止することができます。

■適応うね形状



■主要諸元

型式名 区分	PF2R
機体寸法	
全長(mm)	3160
全幅(mm)	1725
全高(mm)	1925
機体質量(重量)(kg)	615
種類	空冷4サイクルガソリンエンジン
エンジン	0.357[357]
総排気量(L(cc))	7.1(9.7)/3600
定格出力/回転速度(kW(PS)/rpm)	8.8[12.0]
最大出力(kW(PS))	1200~1270
走行部	1200~1320
トレッド	前輪(mm)
後輪(mm)	1200・1320
変速段数(段)	前進2・後進1(HMT)
作業効率(時/10a)	0.6~0.9
適応作物	キャベツ・はくさい・ブロッコリー
適応トレイ	(農水省規格)25角・200穴・30角・128穴

ヤンマー 新商品登場!

新開発された優れたもの

田植機 点検・診断



ご使用前に点検・診断を

Maintenance

ヤンマーの農業機械は、あなたの仕事のパートナー。いつまでもよき相棒として、安全にご利用いただくために、日頃の保守点検は欠かせません。このページを参考に、愛機をチェックしましょう。

- 【ご注意】**
- 各メンテナンスの要領は型式によって異なります。取扱説明書を参照してください。
 - その他、点検により不良箇所、または不安な箇所を見つかった場合は、お気軽に最寄りの販売店・JAにご連絡ください。

【田植え当日に慌てないために】

あなたも
チェック!

- エンジンオイルの量や汚れ
- 燃料タンクのガソリン
※昨年のガソリンが残っている場合は交換してください。
- エンジンが始動するか
- バッテリーの液量は適正か
- 植付クラッチや
走行クラッチが作動するか

診断項目		予想されるトラブル	
エンジン部	エンジンオイル	量・汚れ	オイルの量が不足したり汚れると、エンジンの寿命を縮めエンジンが焼付く原因となります。
	燃料フィルタ	汚れ・詰まり	フィルタが詰まると、空気や燃料の供給量が不足しエンジン馬力がなくなります。
	エアクリーナ	汚れ・詰まり	
	ベルト	張り・損傷	ベルトがゆるんだりすると、機械が動かなくなる原因になります。
	バッテリー	液量 ターミナルの腐食	バッテリーの性能が低下し、エンジンが始動できなくなります。
操作部	ステアリング	遊び量	
	ブレーキ・アクセル・主クラッチペダル	遊び量	
		左右ブレーキの踏み代	本機の向きの変更や停止ができず、事故の原因になります。
		作動具合	
	植付昇降装置	作動具合 ガタ・異音	植付け深さ不良や欠株などが発生し、正常に植付けられない原因になります。
水平制御装置	作動具合		
走行部	タイヤ	摩耗・損傷 空気圧	タイヤやホイールに無理がかかり、走行不能や事故の原因になります。
	車軸・ミッション	油漏れ	オイルが少なくなると、走行不能や油圧回路の作動不良の原因となります。
		オイル量	
施肥機部	肥料繰り出し部	作動具合	正常に施肥できず、成育不良の原因になります。
	ホース・ジャバラ・ブーツ	詰まり・破損・変形	
植付部	植付爪	摩耗・変形	転び苗や浮き苗などが発生し、正常に植付けられない原因になります。
	プッシュロッド	ガタ	
	油圧感度ワイヤ	作動具合	
	苗台支持シュー	摩耗	苗載せ台がスムーズに横送りできなくなり、欠株等の原因となります。

田植機 点検のポイント

1 エンジン部

前回のオイル交換時期でも判断。フィルタ交換はオイル交換2回に1回。

- エンジンオイル**
- ☐量…上限と下限の間にあること。
 - ☐汚れ

- 燃料フィルタ**
- ☐汚れ・詰まり
- 汚れや異物を確認すること。
燃料コックのカップ内を確認すること。

- エアクリーナ**
- ☐汚れ・詰まり
- フィルタの汚れや異物を確認すること。

- ベルト
(ジェネレータ・主クラッチ・カウンター)**
- ☐張り・損傷
- 基準値であること。ベルトに亀裂・底付き・偏摩耗がないこと。

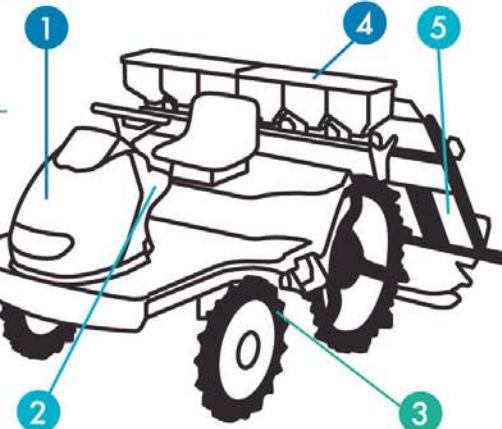
- バッテリー**
- ☐液量
 - ☐ターミナル
- 上限と下限の間にあること。
腐食や緩みを確認すること。

2 操作部

ワイヤやロッドの動きも合わせて確認すること。

- ステアリング**
- ☐遊び量…基準値であること。

- ブレーキ・アクセル・主クラッチペダル**
- ☐遊び量(クラッチ・ブレーキ)基準値であること。
 - ☐左右ブレーキの踏み代
左右の効き深さが同じであること。
 - ☐作動具合…確実に作動すること。



5 植付部

外観の破損も同時に確認すること。

- 植付爪**
- ☐摩耗・曲り
- プッシュロッドとのスキマに注意すること。

- プッシュロッド**
- ☐ガタ
- ロッドバックの劣化・破損も同時に確認すること。

- 油圧感度ワイヤ**
- ☐作動具合
- センターフロートを手で持ち上げて、昇降を確認すること。

- 苗台支持シュー**
- ☐摩耗
- グリスが塗布されているか確認すること。

4 施肥機部

- 肥料繰り出し部**
- ☐作動具合
- 各条の目皿ロールの作動具合を確認すること。

- ホース・ジャバラ・ブーツ**
- ☐詰まり・破損・変形
- フロア付き施肥機は、風力を作動部で確認すること。

3 走行部

前回のオイル交換時期でも判断。フィルタ交換はオイル交換2回に1回。

- タイヤ**
- ☐摩耗・亀裂
- 移動が多いと摩耗が早いので注意すること。
- ☐空気圧
- 空気入りと空気無しがあるので注意すること。

- 車軸・ミッション**
- ☐油漏れ
- 地面に油漏れの跡が無いかも確認すること。
- ☐オイル量
- 基準値であること。

04 各部グリスアップ(注油)

※50時間または1年のどちらか早い時期に実施

- こんな箇所に
- 各操作レバー支点(注油)
 - パワーステアリング・ベルクランク支点部(グリスアップ)
 - トップリンク・ロアリンク支点部(注油)
 - 植付部(グリスアップ)
- ※グリスアップ箇所は型式によって異なります。取扱説明書を参照してください。

植付部(植付爪ケース) 植付部(支持シュー)



グリスを多く入れ過ぎると、プッシュロッドの動きが悪くなり、植付不良が発生します。

03 植付爪

こんな時は交換または調整

- 植付爪が変形・摩耗している。爪先の3~3.5mmぐらいが減ったら交換時期です。



- 点検のしかた**
- ロータケースを手動で回転させて、プッシュロッドが押し出された状態のときに、植付爪とプッシュロッドの先端の間隔を測り、規定寸法より摩耗している場合は交換してください。
- 交換後の点検・調整**
- ①プッシュロッドと植付爪のすき間
 - ②苗取出板と植付爪のすき間
 - ③縦取り量(爪セットゲージ使用)

※詳細は型式によって異なります。取扱説明書を参照してください。

02 プラグ(ガソリンエンジン搭載)

こんな時は清掃または交換

- エンジンのかかりが悪い。
- セルモーターは回るがエンジンがかからない。



- ①プラグキャップを取り外します。
- ②サイズに合ったプラグレンチでプラグを取り外します。
- ③プラグの電極部の状態を確認します。
 - カーボンが付着している
 - ワイヤブラシで、電極部の煤を取り除きます
 - 電極が摩耗している
 - 交換が必要
- ④取付けは付属のプラグレンチで締め付けます。強く締めすぎるとシリンダヘッドのネジ山を破損する恐れがあります。
- ⑤電極カプラを根元までしっかり差し込みます。

※清掃・交換のしかたは、取扱説明書を参照してください。

01 キャブレター(ガソリンエンジン搭載)

こんな時は清掃または交換

- 燃料を入れた状態で保管している。
- ガソリンが変色・変質している。

燃料タンクおよび気化器(キャブレター)より、古いガソリンを完全に抜き取り、新しいガソリンに交換します。

キャブレター内の燃料の抜き方

- ①キャブレターの下部にあるドレンホースの下に燃料を受ける容器を置いてください。
- ②ドレンノブを引くと、ドレンホースから燃料が流れ出てきます。ドレンノブから手を離すと、ドレンホースから流れ出ていた燃料が止まります。



旬の農業書

充実した営農へのヒントがいっぱい。
いま旬の農業書をお届けします。



シリーズ はたらく農業機械⑨
田植機
器用な爪できれいにスイスイ

高井宗宏監修/こどもくらぶ編
定価:2,310円(税込)
出版:農山漁村文化協会(農文協)

人にはできない早さと正確さで苗を植えつける田植機。手植えの動作を見事に機械化したおどろきのしくみや種類、はたらき、開発の歴史などを写真とイラストを駆使して描く(稲作用以外の播種機、移植機なども紹介)。



酒粕の美味しいレシピ
寺田本家 蔵人直伝の酒粕料理帖

著者 なかじ
定価:1,365円(税込)
出版:農山漁村文化協会(農文協)

造り酒屋の蔵人・なかじが教える、古くて新しい素材・酒粕を使ったレシピ集。発酵調味料からおかず、スイーツ、各地の郷土料理まで多彩にラインナップ。酒粕の健康・美容効果、酒造りの歴史・文化まで誌上公開!



宮崎日日新聞社 著
ドキュメント 口蹄疫

宮崎日日新聞社 著
定価:1,995円(税込)
出版:農山漁村文化協会(農文協)

家畜伝染病「口蹄疫」事件。終息から1年余を経て、地元紙の目で発生から終息までの動きを丹念にふり返り、問題点検証と再発防止や復興についての論点を提供。第26回農業ジャーナリスト賞を受賞した一連の報道を再構成。



小祝政明の実践講座5
有機栽培の病気と害虫
出さない工夫と防ぎ方

著者 小祝政明
定価:1,890円(税込)
出版:農山漁村文化協会(農文協)

ミネラル優先・チッソ後追いの、施肥で作物の、中熟堆肥+太陽熱養生処理。で畑と土の防御力をアップ。さらに、堆肥菌液、納豆水など有用菌群の土壌施用や作物散布との合わせ技で防ぐ有機栽培の病気と害虫。



農家が教える
自給エネルギー
とことん活用読本
光、風、水、薪、もみ殻……

農文協 編
定価:1,200円(税込)
出版:農山漁村文化協会(農文協)

身の回りに眠っているエネルギーを暮らしに活かす、小さなエネルギー自給の多彩な例を楽しく紹介。3.11大震災と原発事故以来、高まるエネルギー議論の中、自然エネルギーの未来を考える上で必読の書。



作物を守る共生微生物
エンドファイトの働きと使い方
成澤才彦

著者 成澤才彦
定価:1,680円(税込)
出版:農山漁村文化協会(農文協)

作物を病害虫から守り健康にすると、無農薬や自然農法で注目の共生微生物。生態から働き、分離・採取方法、増殖、使い方、利用の可能性を、第一人者がわかりやすく紹介。酸性土壌での栽培、環境浄化への利用も可能。

お問合せ・ご注文は
農文協
「田舎の本屋さん」
まで
下記のいずれかの方法で
ご注文ください。

郵便
〒107-8668
東京都港区赤坂郵便局
私書箱第15号農文協
「田舎の本屋さん」宛

電話
03-3585-1141
(9時~17時)

FAX
0120-133-730
(24時間受付)

インターネット
田舎の本屋さん
<http://shop.ruralnet.or.jp/>

■荷造送料
何冊でも1回400円。

■お支払い
同封の郵便振替用紙
でお支払い下さい。

■お届け
1週間程度でお届け
します。地域によって、もう
少しお時間をいただく
場合もございます。

希望者
全員
プレゼント!

農業関係の図書を
網羅した農業書協
会編「日本農業書総
目録」を希望者全員
にプレゼント。

ご応募は、下記項目
をご記入の上、注
文専用フリーFAX
へ送付をお願い致
します。

①ご住所 ②お名前
③お電話番号
④ご年齢
⑤ヤンマーWF22号
係宛「目録希望」

応募締切:
平成24年4月30日

個人情報は、プレゼントの発
送や新刊案内などにのみ使
用します。ご了承ください。

旬の農業書コーナープレゼント応募や農業書の注文は、
FAX 0120-133-730 [送信料無料・24時間受付]までお願い致します。

※表示価格は税込みです。

Home
made
Cooking

身近な素材で
手軽に
クッキング!

果実たっぷり、
定番人気スイーツ!!

米粉ミックス粉のフルーツロール



甘いクリームの中から顔をのぞかせる可愛いイチゴやキウイ。子どもからお年寄りまで、定番人気のスイーツ、フルーツロールの登場です! 米粉ミックス粉は、しっとりしているので上手に焼けるのが魅力。粉じたいに甘さがあるので、砂糖も控えめにできてヘルシーです。

分量・30×30cmの天板1枚分

【生地】
卵(L)・・・3個
砂糖・・・80g
米粉ミックス粉・・・80g
無塩バター・・・20g
牛乳・・・20cc

【シロップ】
水・・・50cc
砂糖・・・25g
黄桃シロップ・・・20cc

【クリーム】
生クリーム・・・200cc
砂糖・・・20g

【その他お好みで】
いちご、キウイ、バナナ、黄桃



- 作り方/所要時間:60分
- ① ボールに卵と砂糖を入れて、湯せんにかけ、まぜながら人肌まで温める。次に湯せんからおろしてリボン状の形が消えなくなるまで泡立てる。
米粉ミックス粉を入れゴムベラでサツクリませ、牛乳とあわせて湯せんで溶かしたバターを入れて混ぜる。
 - ② クッキングシートを敷いた天板に①の生地を流し、平らにならしたあと180℃に温めたオーブンで20分ほど焼く。焼き上がったらシートごと網に取り出し、冷ます。
 - ③ 水、砂糖を火にかけて沸騰させ、冷ましたあと、黄桃シロップ(缶詰め)を加える。
生クリームに砂糖を入れ8分立てに泡立て、フルーツはカットしておく。
 - ④ クッキングシートの上に生地の焼き目を下にして置き、全体にシロップを塗る。クリームを全体に塗り広げフルーツをのせる。端からクルクルと巻き、シートで包んで休ませ、好みの大きさにカットする。

写真レシピ提供
新潟県米消費拡大推進協議会発行
米粉愛のお料理読本(第2号)より

あが家の
ステキな女性へ
Wonderful Women

教えてください。あなたのお家のステキな女性のこと。

アンケートをお送り
いただいた方の中から
30名様に図書カード
(1,000円分)をプレゼント!

(掲載させていただいた方にはもれなく
プレゼント致します)
応募締切:平成24年6月30日
弊社到着分までと
させていただきます。

京都府

中学1年の長男、
小学3年の次男、
保育所の長女、と子育てしながらの
パート、毎日ご苦労様。
私の年になったら
農業もして下されませうね。
私(鈴子)→次男の嫁

北海道

いつも力仕事有難う。
(僕が事故にあって以来は。)

昌一さん→浩美さん

青森県

いつも苦勞かけ
本当にごめんなさい。感謝しています。
これからも体に
気をつけて頑張って下さい。

夫→妻

茨城県

52歳からの再出発!!
成功あるのみ!!
明るい将来!!
明るい老後!!

Yさん→Nさん

三重県

忙しく家の中が
散乱して来た頃に仕事帰りに
そっと家に寄って片付け、1品を作って
行ってくれる優しい人に育って
くれた事に感謝。いつまでも元気でね!!

母→娘(洋美)

沖縄県

チビなあなたは、我が家では
大きな存在。弟の面倒をみたり、
お父さんの話相手になったり、
お母さんの手伝いをしたり。4月から
離れて暮らすのが寂しいなあ。
いつでも帰っておいでネ。

母→娘

北海道

毎日、朝早くから
仕事お疲れ様です。小さい頃から
家で搾った牛乳が大好きでした。
もうすぐ子供が産まれるので、子供と一緒に
帰るから、その時は美味しい牛乳
たくさん飲ませて下さい。

娘→母

青森県

頑張りやのお母さんありがとう。
4月で結婚40年。本当にありがとう。
これからも健康でよろしく!!

夫→妻(恵美子さん)

秋田県

いつも一番働いてくれる妻。
春は田植の隅っこを
全部植えてくれるし、秋には又全部隅っこを
刈り取ってくれる。私は機械に乗ってただけ。
いつもカンシャ、カンシャでいっぱいです。
二人でいつまでも元気で頑張ります。

夫→妻

滋賀県

農業は一人では出来ない。
少しでも手伝ってくれば
それだけ長く農に携わることが出来る。
それが二人(夫妻)の長生きの秘訣に
つながる。これからまたのみますよ。

夫→妻

秋田県

田んぼの作業、畑作業、
何も農業などやった事のない妻が
今、一人倍作業頑張っている。
体につけて欲しいと願っています。

夫→妻

岩手県

見事なハンドルさばきで
トラクターを操る姿に
ほれほれます。
これからも安全運転で頑張って!!

旦那さん→奥さん

今回のワンダー・フィールドも、「農業で働くステキな女性Wonderful Women」へご家族の皆さまからのメッセージを大募集します。
日ごろは照れくさくて、なかなか面と向かって口に出しては言えない言葉や思い、エピソードをハガキに書いて贈ってみませんか?
妻へ、母へ、娘へ…。ワンダー・フィールドがあなたに代わってお届けいたします。

(次号に掲載させていただきます。多数ご応募の場合は選考させていただきますのでご了承ください。)

応募要項
作品テーマ わが家のステキな女性へ! Wonderful Women
作品文字数 何文字でも結構です。応募ハガキにおさまらない場合は封書にてお送りください。
また、写真等をお送りいただける場合も恐れ入りますが封書にてお送りください。
送り先 〒530-8321 大阪市北区鶴野町1-9 梅田ゲートタワー
ヤンマー農機販売株式会社「わが家のステキな女性へ」係 ※応募作品の返却はいたしません。
締切 平成24年6月30日弊社到着分
発表 次号Vol.23に掲載いたします。多数ご応募の場合は選考させていただきますのでご了承ください。

応募はカンタン!
こちらの綴じ込み
ハガキどうぞ!

写真がある場合や書ききれ
ない場合は恐れ入りますが
封書でお送りください。

*ヤンマーグループでは個人情報の保護についての法令を遵守し、お客様の個人情報の適切な運用・管理を行います。ご記入いただいたお客様の個人情報は、新製品やイベントのご案内及びアフターサービスの充実などに利用させていただくこと以外、使用することはありません。

第22回

ヤンマー学生懸賞論文・作文入賞者発表

“進化する農へ挑戦 創ろう 活かそう 価値を未来へ”～生命を育む「食」、食を生み出す「農」、
環境を守る「農山漁村」～をテーマとした懸賞論文に76編・作文に518編の応募をいただきました。
厳正な審査の結果、論文13編・作文28編を優秀作品として決定いたしました。



論文の部 入賞者の皆さん



作文の部 入賞者の皆さん

◆論文の部 入賞

入賞区分	氏名(代表者) 学校名/学部名/学科名	作品名
大賞	七戸 美咲 青森県営農大/畜産課程	牛とともに生きる ～震災の経験から考えた新しい 地域ブランド肉牛生産のかたち～
特別 優秀賞	寺尾 聡美 立命館大学/国際関係学部/国際関係学科	中山間地域の農業経営 ～不可能を可能にする2つの「挑戦」～
特別 優秀賞	伊藤 千春 高崎経済大学/経済学部/経営学科	パンフレット配布による観光客誘致 ～「行列のできる直売所」を目指して～
優秀賞	瀬戸 秀幸 鹿児島県立農業大/畜産学部/養豚科	豚の幸せと近代養豚の境界線 ～豚のことは豚に聞こう～
優秀賞	中田 康太 宮崎県立農業大/農学部/園芸経営学科	完熟きんかんの台湾輸出に向けて
優秀賞	増澤 享平 信州大学/農学部/食料生産科学科	地産地消の直売所 ～農産物はお土産になるか?～
優秀賞	村石 龍之輔 学習院大学/経済学部/経営学科	ブルーーツリズムによる漁業活性化施策 ～お残しは、許しまへんで～
優秀賞	田中 緑 学習院大学/経済学部/経営学科	ストーリーマーケティングによる 魚食文化の活性化
優秀賞	菅野 直樹 岡山大学/農学部/総合農業科学科	ニューファーマーに学ぶ ～私がニューファーマーになるために～
優秀賞	栗田 一平 京都大学/農学部/地域環境工学科	農業界に新風を巻き起こす怪獣 ～農(ミノ)ラ～
優秀賞	芦田 涼 岡山大学/農学部/総合農業科学科	農村女性リーダーは、幸せのリーダーへ ～幸福度7.6の輝き～
優秀賞	的場 朱里 和歌山大学/観光学部/地域再生学科	農業・農村の多角化と農家女性の役割
優秀賞	鳥越 久史 大分大学/経済学部/地域システム学科	「俺らが放棄地おしちゃん」 ～栽培・醸造・農泊、一体型経営の可能性～

◆作文の部 入賞

入賞区分	氏名 学校名/学部名/学科名	作品名
金賞	坂田 客胡 愛知県立農業大/教育部/農学科	牛への思い
銀賞	安田 光 鹿児島県立農業大/畜産学部/肉用牛科	「沖永良部から日本を元気に」 ～私が目指すもの～
銀賞	井田 剛 長崎県立農業大/養成部/野菜学科	農が与えてくれたものと感謝
銅賞	細川 晴日 滋賀県立農業大/養成科	私がじぶんの農業をみつつけるまで
銅賞	松元 武蔵 宮崎県立農業大/農学部/畜産経営学科	マイ「農業」ライフ
銅賞	濱山 幸波 宮崎県立農業大/農学部/園芸経営学科	農業界への新規参入を目指して
銅賞	佐藤 慎平 山形県立農業大/果樹経営学科	目指すは笑顔
銅賞	吉村 藍里 福岡県立農業大/養成科	光の塵を捕まえる
銅賞	川瀬 竜也 新潟県立農業大/稲作経営科	～心の変化～農業への思い
銅賞	平井 亮 新潟県立農業大/研究科	生涯の目標
銅賞	小島 太一 熊本県立農業大/農学部/畜産学科	乳(new)～新たな酪農をめざして～
銅賞	深浦 理紗子 長崎県立農業大/養成部/畜産学科	農業大校への道のり
銅賞	石橋 あゆみ 大分短期大/園芸科	10年後のおばあちゃん、お父さんへ

◆作文の部 奨励賞 氏名 学校名/学部名/学科名

兒玉 浩正 鹿児島県立農業大/畜産学部/養豚科	重盛 貴章 宮崎県立農業大/農学部/園芸学科	石川 あゆみ 大分県立農業大/農学部/総合農産科	山田 貢平 福島県農業総合センター 農業短期大/農学部/園芸学科
惠森 賢志郎 鹿児島県立農業大/畜産学部/養豚科	山田 倫之 愛知県立農業大/教育部/農学科	島腹 貴宏 山形県立農業大/野菜・花き経営学科	工藤 寿美礼 岩手県立農業大/農産園芸学科
浦城 翔太 三重県立農業大/養成科	原口 豊 鹿児島県立農業大/農学部/花き科	齋藤 貴樹 山形県立農業大/稲作経営学科	福永 梨花子 大分短期大/園芸科
酒井 美穂 愛知県立農業大/教育部/研究科	山本 征太 鳥取県立農業大/農業経営学科	伊藤 久子 福島県農業総合センター 農業短期大/農学部/畜産学科	